



夏見台幼稚園・保育園 ニュースレター 2026.6.30 号

園主の鳥居徹也です。夏見台幼稚園・保育園でのこだわりをニュースレターにまとめます。どうぞご覧ください。※配信停止の方はお手数ですがメールまたはお電話でどうぞ(info@trepont.jp まで)

〒273-0866 船橋市夏見台 2-16-1 夏見台幼保園
電話:047-429-7231

AI時代の「独りでいられる能力」とは



プロ野球巨人軍の阿部氏の監督辞任。そこにAIが絡んでいたことが話題となりました。阿部氏の暴力を加えられた長女が、相談相手としてAIを選んだからです。母親でも友達でもなくAI。

この件に関して、宗教学者の島田裕巳氏は次のように言いました。このコメントは、最近ローマ教皇がAIに対する警鐘を全世界に向けて発したことを受けています。

生成AIが人間から相談役の地位を奪ってしまえば、聖職者は不要になる。それは、宗教そのものの存在意義を失わせることにつながる



宗教学者 島田裕巳

しかし宗教界の懸念は、宗教組織の存在が脅かされていることへの焦りがあるということです。ついにAIは宗教さえも駆逐すると。

一方で、先月の朝日新聞に次のような記事が載りました。「日本人の孤独感、この40年で上昇傾向を確認 特に青年期や女性で」。スマホの影響もあるでしょうが、若い人の孤独感はますます高まっているようです。

ここに「依存」の問題が出てきます。AIへの依存、ゲームやアルコール、薬物、SNSへの依存…。孤独の裏にある依存の問題は無視できません。

ではなぜ人は依存するのか？ ストレス、不安、プレッシャーなど。あるいはこんなときにも人は依存に走るといいます。

「本当にやりたいことが妨げられた時に、一時的な逃げ道を見つける。」

何かに夢中になっている人は依存には縁がありません。物事に向かっていく「意欲」を育む意味にもつながります。

ところでイギリスの著名な小児科医であるドナルド・ウィニコット氏は、「**独りでいられる能力**」という言葉を発表しました。子どもがお母さんのそばで遊んでいます。信頼できる他人である母親のそばでの一人遊びです。

やがて母親が視界の外にあっても、子どもは一人で遊びます。そして母親が不在のところでも一人で遊べるようになります。これが「独りでいられる能力」です。

「独りでいられる能力」



この時の子どもは一人であって一人ではない状態です。心の中に安心できる人—お母さんがいるからです。

心の中に誰がいるか？ これがとても重要になります。「外」にいるのではなく心の「内」にいること。これをメンターともいいます。メンターとはギリシャ

神話の教師の名前です。メンタルの語源です。

メンターはあこがれの存在であり、内的基準です。ある心理学者によれば、幼少期の絵本体験が豊かなほど、心の中にメンターを意識しやすいとのこと。AIの時代を生きる子どもたちにとっての、幼児教育の大きな役割の一つだと私は考えています。

(終)

本当にやりたいことが妨げられた時に一時的な逃げ道を見つける



メンターの存在



あこがれ 内的基準

ドラッカーの「ミラー・テスト」とは何か？

最近のAIの進歩の速さはすさまじく、私は日々、幼児教育にできることは何かと考えています。未来がわからない時は過去にさかのぼってみるのもいいかなと思い、古い本を引っ張り出しました。

ピーター・ドラッカーの『明日を支配するもの』。こ



この本は21世紀を目前とした1999年に出版されました。当時のドラッカーは世界的なベストセラー作家で、時代を先読みするために多くの人がドラッカーの著作を読んだものです。

私がこの本の中で最も影響を受けたのが「ミラー・テスト」です。文字通り鏡に自分の姿を映すことです。ドラッカーはこんな逸話を紹介しています。



「1906年に駐英ドイツ大使が辞任した話」

当時、駐英ドイツ大使は列強の外交官の中でも最も尊敬される人物の一人だった。将来はドイツ外相、あるいは首相候補とも目されていた。

イギリス国王のエドワード7世を祝う晩餐会で、彼は外交団長として主催役を務める予定だった。ところが国王は女性関係で有名で、晩餐会の余興として「巨大なケーキから裸の娼婦たちが飛び出す」という趣向を望んだ。

大使はそれを拒否し…

その大使は職を辞し失脚。しかし大使に後悔はありませんでした。

そのときの言葉としてドラッカーは、

「朝、髭を剃るときに、鏡の中にポン引きの顔を見たくない」

という言葉を紹介している。

ここからドラッカーは、

「朝鏡の中にどんな人間を見たいのか？」

という問いを「ミラー・テスト」と呼んだ。

ちなみに私はこの本を35歳くらいのときに読みました。その10年後に断酒しました。朝の二日酔いでむくんだ顔が嫌になりました。

これは次のようなことを意味しています。「BE: 自分はどんな人間でありたいか?」。「DO: 自分



分は何ができるのか?」。駐英ドイツ大使は鏡の中に自分の最も気高い姿を見たのです。まず自分の「あり方」があって、それが彼の「やり方」に影響しました。

AIはこれから人間の仕事や能力をどんどん代替するでしょう。そんな時代には人間としての「あり方」が問われるのではないのでしょうか。

ミラーテスト



朝の鏡の中に、洗面を見るか笑顔を見るか。「やり方」よりも「あり方」が大切な時代が来ます。「子どもにどうあってほしいのか」という問いを、今一度考えてみるのもいいのではないのでしょうか。(終)